社員の御家族様、取引先様にお届けします。

【経営理念】全従業員と社会のために、私たちの行動哲学をもとに一つとなり、すべての力を最大限に活かすこと。

エムズホールド通信 Vol.22

2021 年 1 月 23 日発行

発行所：エムズホールド株式会社 / Hanasaka リフォーム

〒525-0051 滋賀県草津市木川町 1595

TEL：077-574-8276

編集長：K.Konishi　　ご意見: denwa@mshold.com

編集者：H.Iida

日本語版 / インドネシア語版

決め手は継続力と爆発力!～待望の年間 MVP 発表！～

(左上から山中、アジ、和田、吉川、前田社長)

12 月 28 日(月)､「名代宿場そば」にて、感染症対策に十二分に気を付けて 12 月の月次報告会議と忘年会を開催した。会議の後には、月間 MVP(後に記載)、そして従業員お待ちかねの年間 MVP が発表された。今年は実習生年間 MVP、日本人年間 MVP(2 人)、社長賞の 3 つの賞が発表された。まず社長賞に選出されたのは…仮設事業部・山中勝也だ。4 月末に入社してから、真摯に仕事に取り組み、毎月票を獲得していた。山中は驚きを隠せない表情で「**入社して間もない私を選んで頂いて本当に嬉しい。まだまだ経験が浅くできない作業も多いが、来年はもっと会社に役立てるように頑張っていきたい**」と語った。そして、実習生の年間 MVP を獲得したのは…仮設事業部・アジだ。従業員の信頼を集めに集めた結果であり、何より他の実習生全員がアジのことを認め、心から祝福している様子が印象的であった。アジは人前で話すのに緊張しながらも「**実習生の私をこんなに評価して頂いて感謝しています。私は来年で帰国になりますが、日々の仕事はもちろん、日本語の勉強も最後まで頑張っていきます!**」と流暢な日本語で語った。そして栄えある年間 MVP を手にした 2 人は…。仮設事業部・和田智仁とリフォーム事業部・吉川賢一だ！両者は年間 MVP 獲得まで両極端の道のりを歩んできた。和田は毎月コツコツ票を集め､「継続力」で 2 度目の年間 MVP を獲得した。反対に吉川は 1 度に大量の票を集める「爆発力」で入社してわずか約 1 年で栄冠に輝いたのだ。今回の受賞にあたり、和田は「**今年は自分の力だけではなく、仮設事業部全員が高め合ってきたからこそ頂けた賞だと思っている。今年は年間 MVP に選んで頂いたが、まだまだ自分には課題がある。来年は自分の身の回りのことや、私生活を改善していきたい**」と落ち着いた口調で来年の抱負も語った。続いて吉川は感動しながら「**地道にコツコツ取り組んできたことが報われて本当に嬉しい。もうすぐ妻の出産予定日。いつまでも妻と、そして生まれてくる子どもに感謝を忘れず、これからも頑張っていきたい**」と語った。

来年の年間 MVP は誰が選出されるのか？今回の発表で悔しい思いをし、来年に向けて鼻息を荒くし、闘志を燃やしている者がたくさんいる。従業員たちによる熱い戦いはもう始まっているのだ。

エムズフォーカス Go To で気になるあそこへ初潜入！

12 月 27 日(日)、この日は政府が定める旅行需要喚起策の「Go To トラベルキャンペーン」全国一斉停止前日だった。この最終日に前田社長のご厚意で、弊社従業員の希望者は、草津の由緒あるホテル「ホテルボストンプラザ草津 びわ湖」に宿泊させてもらえることになった。今回も 9 月の社員旅行同様、武田観光株式会社の武田正大様に宿泊等の手配をして頂いた。部屋に入ると、至る所にホスピタリティ精神が散りばめられており、また、上階から見る景色も壮観で、大満足の宿泊となった。翌日の朝食は、感染症対策が十分になされたレストランでのバイキング。朝から豪華な食事が並び、従業員たちは興奮しながらプレートに食事をとり分けていく。インドネシアから来ている実習生たちは、早朝からカレーをモリモリ食べ、満足げな表情を浮かべていた。ほどなくしてチェックアウトの時間になり、ホテルを後にしたが、従業員一同、この夢のような空間にずっと居たいと思えるほど幸せな時間だった。こちらのホテルでは、宿泊の他にも、宴会や会議、またウェディング事業にも従事されている。

ホテルボストンプラザ草津 びわ湖

〒525-0037

滋賀県草津市草津駅西口ボストンスクエア内

TEL:077-561-3311　FAX：077-561-3322

月間 MVP 発表！愚直に突き進む侍たち！

(左から吉川、アアー、アジ、フィルマン、前田社長)

上記の年間 MVP 表彰前に、毎月恒例の月間 MVP 発表が行われた。日本人からは、毎日欠かさずトイレの掃除をし、挨拶をしたら笑顔で返事をし、また、忙しい中でも社宅を綺麗に掃除し、実習生から信頼を勝ち取ったリフォーム事業部・吉川賢一が選ばれた。実習生からは、現場でも、段取りでも黙々と仕事に取り組んでいる点を評価されたフィルマン、仕事と勉強に対する姿勢は日本人よりも上であり、誰よりも努力している点を評価されたアジ、いつも元気がよく、現場作業の時も従業員に声掛けやお客様に挨拶が出来ている点が評価されたアアーと計 3 名もの選出があった。次回の MVP は 2 月 13 日(土)に発表される。次回から月間ＭＶＰの累計票数はリセットされ、2021 年の年間 MVP に向けて票数がカウントされる。

園児に感動を…。ひなぎく子ども園様でデコペイント！

（「山」に描いたデコペイント施工）

先日、知人の紹介から発注を頂いた、滋賀県守山市のひなぎくこども園様にて、デコペイント施工をさせて頂いた。デコペイントとは、弊社リフォーム事業部が行っている事業の一つであり、イラストを描くスタッフ(デコスタッフ)が、壁や塀など様々な場所に、素敵なイラストを描くものである。今回も受注から施工完了まで、デコペイント担当・吉川賢一が、真摯に対応させて頂いた。まず初めに、先生方と入念に打ち合わせをさせて頂き、今回は「山」と呼ばれ、園内を一望できる、ひなぎくこども園様を象徴する場所にデコペイントを実施させていただくことになった。園内を見学させて頂いた後、一旦事務所に戻り、「**園はどのような雰囲気だったか**」、「**子どもが喜ぶものはどんなものか**」を考え、それを基に、様々なイラストの提案をお客様に提出した。最終的に青い空に虹がかかっている絵と、緑豊かな山で遊ぶ動物達の絵を混ぜた案が決まり、いざ、「山」にイラストを描いていく。その過程で作業中に園児たちが「**がんばれ～!**」と声援をかけてくれ、一層頑張ろうという気持ちになった。事業の中で、脚立を用意できていなかったり、養生が剥がれかけたりとこちらの準備不足や、完成時のイラストの仕上がりの不十分さに、ひなぎくこども園様からご指摘を頂いたこともあったが、頂戴した反省点を生かして、毎回の作業終了時に良かった点、悪かった点の洗い出すことで、改善を図っていった。仕事を完遂させたリフォーム事業部・吉川は「**こちらの準備不足や不十分な仕上がりで、園の方々にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。途中、初めからやり直すべきか悩みましたが、デコスタッフの頑張りで立て直すことができました。最終的に先生方からたくさん喜びの声を頂き、嬉しかったです**」と笑顔で語った。弊社では今回のひなぎくこども園様のような教育施設はもちろん、ご自宅や事業所様でも、デコペイントの施工を承っている。

語る猫と青い空
作：飯田

Drive In Theater Kusatsu ～大切な人と非日常の体験を～

(巨大スクリーンに映る宇野様、たびゑ丸、前田社長)

12 月 18,19 日に、矢橋帰帆島公園多目的グラウンドにて、草津商工会議所青年部様主催で自家用車に乗ったまま巨大スクリーンで映画を楽しむ「Drive In Theater Kusatsu」が開催された。今回使用されたスクリーンは、弊社・仮設事業部が仮設足場を組むことで設置されたもので、設置に携わった小椋真里は「**こんなに大きいサイズのスクリーンを見たのは初めて。仮設足場という裏方の仕事ですが、草津市を盛り上げ、色んな人たちの笑顔に繋がる仕事をしていると思うと感動する**」と興奮気味に話した。今回のイベントを企画したまちあかり委員会・委員長の宇野正倫様は「**草津市において、おそらく初である大規模なドライブインシアター。新しい生活様式の中で、ソーシャルディスタンスを保ちながらも、皆様に楽しんで頂ける方法は何か、喜んでもらえる方法は何か、少しでも街を盛り上げる方法は何か、そんなことを考えて企画しました。**」と語った。また、草津商工会議所青年部の会長であり、弊社の代表取締役でもある、前田武憲は「**本年度、市内の大型イベントが軒並み中止となりました。この社会情勢で、やるも正義、やらぬも正義のなか、私たち青年部はやる方の正義を選択しました。どんな状況に置かれても、一歩でも前に進む姿勢が将来の担い手に伝わればと考えます。さらに、みなさまの思い出の中で、このイベントによって、何も無かった１年から『これがあった１年だったね』と記憶してもらえるようなイベントになっていれば幸いです。映画が終わり、皆さまがお帰りになられる際に、笑顔で手を振ってくださったり、ハザード＆パッシングをしてくださったり、本当にこのイベントを開催して良かったと思いました。ありがとうございました。**」と来て頂いたお客様、そして、協力してくださった方々に感謝しながら、満足げな表情で話すと同時に、次なるイベントを静かに見据えていた。

忘年会実施の裏側で…。～徹底的な感染症対策～

本通信の表面にも記載させて頂いたが、12 月 28 日の月次報告会議と忘年会は、厳格な管理体制で感染症対策をしながら実施した。まず、入店前の検温と消毒を徹底し、窓やドアを常時開け、空気の換気を徹底。また、店内には弊社が販売している「業務用次亜塩素酸空気清浄機　Virus washer PRO(約 30 畳の広さまで対応)」を 2 台設置し、空気清浄と空間除菌脱臭を両立した。飲食の際には、従業員間のソーシャルディスタンスを取り、各テーブルには手指消毒用として、弱酸性次亜塩素酸水ステリパワーのスプレーボトルと噴霧器を設置することで各テーブルにも細かな感染症対策を施した。(忘年会当日から 2 週間以上経過したが、1 人も体調不良を訴える者は出ていない。)

(感染症対策の一例)

外壁屋根塗装工事
仮設足場設置工事
各種リフォーム工事
TEL：077-574-8276
お家に関する
お悩み…
何でも
ご相談ください！
地域とともに エムズホールド株式会社

ステリパワーでみんなの
リスクをコントロール
http://mshold.com/steripower/

バックナンバーはこちらから→http://mshold.com/reform/newspaper/

本通信は「アリキタリはオモロナイ！」を合言葉に編集者の独断と偏見で制作しております。